

佐賀県

みんなで読もう オススメ本



このコーナーでは、
県内の著名人がおすすめする児童書の魅力を、
直筆の推薦文とともに
紹介します。



はじめてのおつかい

5さいのみいちゃんは ほかの人のために はじめてのおつかいに
いきます。でも じいちゃんに びびるとして、すかみちで
ころんだりしました。
おみせで みいちゃんはおおきいこえがだせません。
みいちゃんはおつかいができるかな。
テレビの「はじめてのおつかい」を このほんから はじめました。



『はじめてのおつかい』
作/筒井 頼子
絵/林 明子
福音館書店

みいちゃんはママに頼まれて牛乳を買いに出かけます。自転車にベルを鳴らされてどきどきしたり、坂道で転んでしまったり、ひとりで歩く道は緊張の連続です。坂をあがると、お店につきました。お店にはだれもいません。みいちゃんは深呼吸をして、「ぎゅうにゆうください」と言いました。でも、小さな声しかできません。お店の人は、小さいみいちゃんには気がつかないみたい……。小さな女の子の心の動きを鮮やかに描いた絵本です。

手ぶくろを買いに

子ぎつねが人間のお店に手ぶくろを買いに行くことに
決めた。でもお母さん子ぎつねは 人間の町へ出かけ
とんだ日に来たこえを思い出しました。
子ぎつねが 人間の町へ来たとき 人間の手に かえました。
でも子ぎつねは お店に 子ぎつねの手を出してしまいました。
子ぎつねは 無事に手ぶくろを買いに帰るでしょうか。



『手ぶくろを買いに』
作/新美 南吉 絵/どい かや あすなる書房
「生まれてはじめて雪をみた子ぎつねは、そのまぶしさに、そして、あまりの冷たさにびっくりぎょうてん。母さんぎつねは、そんなぼうやに手袋を買ってあげたいと思うのですが……。この作品に深い思い入れがあり、いつか絵本化したいと長年あたためてきたどいかやさんならではの新しい南吉ワールド。雪の季節に読みたい、心がぼっとあたたかくなる絵本です。」

子うさぎましろのお話

サンタクロースのおじさんから いちばんすきに おくりものを
もらった ましろは もうひと おくりものがほしいから
からだにすみをぬいで 人間の町へお出かけしました。
でもお母さんに おかあさんが ましろだとおぼえないかもと しげいに
なりました。こまの ましろは どうしたのかな。
我が家の子ども達に クリスマスの時期が来ると何度も
読み聞かせた本です。



『子うさぎましろのお話』
作/佐々木 たづ
絵/三好 碩也
ポプラ社

クリスマスの日、サンタ=クロースにももらったおかしを食べてしまった白うさぎのましろは、体に炭をぬり、黒うさぎになってもう一度サンタさんに会いに行きます。サンタクロースは、黒いましろに、小さな「たね」をひとつくれました。しかし帰り道、ましろは、サンタさんに嘘をついたことをくやみ、たねを森の土の下にうめました。やがて春がきて、そこから一本の木がのびだして……。1970年の刊行以来、読み継がれてきた名作絵本。

兒玉浩明さんってどんな人？

2019年から佐賀大学の学長をしています。大分県出身で、佐賀大学工学部を卒業後、九州大学大学院で博士課程を修了しました。その後、佐賀大学工学部で、化学や生物の研究を続け、現在は、学長として、「地域と共に未来に向けて発展し続ける大学づくり」に取り組んでいます。好きな食べ物はカレーやラーメンで、趣味は、映画をみることです。



佐賀県立図書館「ココろざしの森」では、このコーナーで紹介した児童書と推薦文を展示しています！

